

事業概略書

事業名	平成 25 年度 障害者総合福祉推進事業 指定課題 23
事業目的	<p>近年、「発達障害」「自閉症スペクトラム障害」に対する社会の認識が高まるとともに行政への相談者や医療機関への受診者が急増しているが、専門の医療機関も地域支援の受け皿も少ないのが現状であり、支援手法も構築されていない。</p> <p>本調査では、①当事者と家族の支援ニーズとともに、医療・行政分野の支援状況とニーズを調査し、必要な提言を行うこと、②発達障害者を対象にしたプログラムの開発、③支援ネットワークの構築を行うことによって、成人発達障害支援体制の確立を目指すことを目的にする。</p>
事業概要	<p>事業は①アンケート調査②デイケアプログラムの開発③支援ネットワークの構築を主な事業として行った。概要は以下の通りである。</p> <p>①アンケート調査 当事者、家族、医療機関、行政（精神保健福祉センター／発達障害支援センター）を対象に支援状況と支援ニーズの調査を実施する。</p> <p>②発達障害専門プログラムの開発 昭和大学プログラムの効果を検証し、ワークブック・マニュアルを作成する。</p> <p>③支援ネットワークの構築 全国的な成人発達障害支援者のネットワークを構築をする。</p> <p>④その他 本事業での事務作業にて発達障害者を積極的に雇用し就労支援方法を模索する。</p>
事業実施結果及び効果	<p>①アンケート調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「医療機関と情報の不足」 - 受診まで 3 年以上かかった家族が半数以上。 ・「発達障害デイケアの効果と必要性」 - デイケア参加者の評価、医療の意識からワークブック・マニュアルの必要性が示唆された。 ・「家族への支援の必要性」 - 家族支援ニーズが明らかになった。「家族向け発達障害専門プログラム」の期待が寄せられる。 ・「多角的な支援の必要性と支援の困難さ」 - 中核症状だけではなく、就労等多角的な支援の必要性が明らかになった。支援者育成システム強化、支援実現可能にする体制や法整備が求められる。 <p>②発達障害専門プログラムの開発 効果検証後、「コミュニケーション基礎編」ワークブック・マニュアルを作成。</p> <p>③支援ネットワークの構築 平成 25 年 11 月に「第 1 回成人発達障害支援研究会」を開催。189 名が参加。</p> <p>④その他：当事者 6 名を雇用。うち 1 名が昭和大学職員として正式に採用に至った。</p>
事業主体	<p>郵便番号：157-8577</p> <p>所在地：東京都世田谷区北烏山 6-11-11</p> <p>昭和大学発達障害医療研究所／昭和大学附属烏山病院</p> <p>法人名：学校法人 昭和大学</p> <p>電話番号/E-MAIL：03-3300-5231/adult.asd.2013@gmail.com</p>